

教科等研究会（小学校外国語活動部会） 平成28年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

外国語に親しみ、楽しく積極的に
コミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

2 研究経過

第1回			第2回			第3回		
期日	人数	場所	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
5/26	23人	嘉島西小	11/24	白旗小	田邊 愛 講師	1/27	嘉島西小	勝間田あぐり教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 授業改善に向けて

外国語活動部会では、次のことに留意しながら授業作りを行った。

ア コミュニケーション活動を重視した授業作り

- ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させる。
- ・ 積極的に外国語を聞いたり、話したりするために、必然性のある場面設定を工夫する。
- ・ 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを学習する。

イ 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるための工夫

- ・ 英語のリズムに気をつけながら、楽しく発話する。
- ・ 一人、ペア、グループなど多様な学習形態を工夫する。
- ・ 新出言語は、視覚教材（絵・写真）を用いて、「聞く」ことから出会わせる。
- ・ 英語特有の発音やリズムを身に付けさせるためにALTやデジタル教材を活用する。
- ・ 目的に応じたゲームやチャンツを行う。

ウ 指導力の向上を図るために

- ・ クラスルームイングリッシュを活用する。
- ・ 事前研究会を行い、互いの実践に学ぶ。

② 授業実践

○ 第6学年 Lesson5「友達を旅行に誘おう」(Hi, friends!2) 白旗小学校 田邊 愛 講師

本単元は、世界の国々を題材とし、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付き、世界に興味を持たせることをねらいとしている。単元のゴールは「旅行会社になっておすすめの国を紹介しよう」で、本時は表現に慣れ親しんだ後、おすすめの国を紹介しあうコミュニケーション活動を行った。児童は行きたい国について事前に調べており、積極的に紹介していた。「Where do you want to go?」の表現は児童にとって難しく、その表現に慣れ親しませるための指導について話し合われた。その表現を何度も聞かせ、英語特有のリズムや発音に気をつけながら、楽しくチャンツを行い、途中で個人練習を行いながら練習していくと、児童はコミュニケーション活動において自信を持って言えるようになる」と助言を頂いた。



おすすめの国を紹介する児童

○ 第5学年 Lesson9「What would you like?」～ランチメニューを作ろう～ (Hi, friends!1)

※実践事例参照

嘉島西小学校 勝間田あぐり教諭

(2) 成果と課題

- 各授業において、児童が楽しく学習に参加するための工夫がなされていた。嘉島西小学校の授業では、表現に慣れ親しませる工夫としてチャンツのレベルを少しずつ上げたり、身体表現を加えたりしながら変化に富んだ活動を行うことで、児童は飽きることなくいきいきと活動し、最後には自信を持って英語表現を使う姿が見られた。また、白旗小学校の授業では、旅行会社という場面を設定することによって、児童が場面をイメージしながら楽しく活動していた。
- 教師の熱意が伝わる生き生きとした授業が展開されており、会員の先生方から「自分ももっと楽しんで外国語活動をやっていききたい」という感想が多く聞かれた。教師はコミュニケーションのモデルとなる。積極的に英語を使い、コミュニケーション活動の充実を図りたい。
- 2つの授業実践は、ALTやコーディネーターとのTT授業であった。実際は、担任1人で授業を行っている場合が多く、モデル対話をどう提示していくか、どのように発音指導を行っていくかなど悩みが出された。今後、デジタル教材を活用した授業などを提案できるとよいだろう。
- 平成32年度から実施される小学校中学年からの外国語活動、そして高学年での教科化に向けて、どのように英語教育を行っていくか、先生方の関心が高まっている。外国語活動部会では授業研究の他、学習教材を集めたり、授業で使える活動例を持ち寄ったりしながら研修を深めていく必要がある。
- 本年度は小中行動研修会を実施できなかった。次年度検討したい。

4 実践事例

(1) 授業の概要

第5学年 単元名 Lesson9 What would you like? ランチメニューを作ろう(“Hi, Friends!1”)

〔自評〕

工夫点として、常に単元のゴールを意識させて、最初にモデル対話のVTRを見せた。また自然な発音ができるようにするために、ALTにモデルになってもらいチャンツで親しませた。活動に変化を付けるために、今回新たに「Stand up game」を考えてやってみた。授業後半には、単元のゴールを見据えたロールプレイを入れた。

〔協議の内容〕

- 同じフレーズでもチャンツやゲームのパターンを変えてあり効果的だった。動きを加えることで、児童はより活動に興味を持ち、生き生きとした表情で繰り返し発話していた。
- 児童が1人で言う場を設定すると学習形態が変わり、評価もできてよかっただろう。
- 準備・計画がしっかりできていた。実態調査では、コミュニケーションを楽しめていない児童が多くいたが、本時は授業の工夫改善により、意欲的に活動を楽しんでいる様子だった。
- Activityでは、何か達成するような活動にすると、より意欲的に取り組めたのではないか。
- モデル動画は効果的だった。1人で授業する場合も使える効果的な手法だ。そこでWouldとlikeの発音の違いに気付かせるためには、2つを比較して聞かせるるとよかっただろう。

〔指導助言〕

授業で大切なことは次の3点である。①教えたいが学びたいになっているか。②全ての活動が目標に向かっているか。③活動の各要素が子どもの思考の流れにそっているか。

本時の授業はとてもよかった。改善点としては、本単元のゴールを外国語を使わねばならぬ場面設定にすること。例えば、オーストラリアに出店する、留学先でバイトをする、などが考えられる。また、活動を行う時に大切なことは、最初に活動の留意点を言うことである。チャンツはどこに気をつけて言えばよいのか児童に示すことが大事である。そして、チャンツは何度も言うだけでなく、一人ずつの確認の時間が必要である。一人では言えていない児童もいるので、ペアで確認するなどの方法を取り入れ、練習を繰り返していくとよいだろう。

本時がAとBの会話をゴールとするならば、練習もAとBの対話形式であるべきであった。この表現を使うのだという意識をもって取り組ませることが大切である。

授業作りで大切なことは、授業の材料を集めること。ピクチャーカードやチャンツ、歌を見つけておくと、授業ができる。小学校教諭は発音に自信がない人もいるが、CDなどを活用すれば大丈夫である。子どもたちと楽しく授業を行ってほしい。

(2) 学習指導案

第 5 学年 2 組 English Time 学習指導案

平成 29 年 1 月 27 日 (金) 第 4 校時

指導者 教諭 勝間田 あぐり EC: 甲斐 成之 ALT: Lily McDermott

1 単元名 Hi, friends! 1 Lesson 9 What would you like? ～ランチメニューを作ろう～

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、丁寧な言い方で料理を注文する表現を使った活動を通して、英語で聞いたり話したりすることに慣れ親しむこと、コミュニケーションを図る楽しさを実感すること、英語と日本語の表現や音の違いに気づくことをねらいとしている。

本単元は、児童に丁寧な言い方で食べ物や飲み物を注文する英語表現を知らせるとともに、日本語と英語の表現や音の違い、さらに英語特有の音声的特徴に気づかせる。また、世界の料理に興味を持たせ、文化的な理解を図る。そして、チャンツやゲームを通して、ほしいものを英語で聞いたり伝えたりする表現に十分に慣れ親しませ、単元の終末には、慣れ親しんだ英語表現を使って「嘉西キッチンを開こう！」の活動を行い、レストランで料理の注文を聞いたり、注文を伝えたりする疑似体験を行う。

(2) 児童の実態 (計 32 人)

本学級の English Time (ET) アンケートの結果は次の通りである。

アンケート項目	とても そう思う	そう思う	あまり 思わない	思わない	達成率 (%)
① English Time の時間は楽しい。	10	16	6	0	81
② 英語を聞いたり話したりすることが好きだ。	9	9	14	0	56
③ 英語の発音やリズムに気をつけながら、チャンツをしたり、歌ったりしている。	12	11	8	1	72
④ 英語の発音やリズムに気をつけながら、英語を話している。	9	13	7	3	69
⑤ 英語をもっとたくさん学びたい。	12	11	8	1	72
⑥ 友達や先生、外国の人など、たくさんの人と英語で話したい。	10	12	7	3	69

アンケート項目②の結果より、英語のゲームは楽しんでいるが、コミュニケーション活動に苦手意識を抱いていて、十分に楽しめていないことが分かる。本単元では、「嘉西キッチンを開こう！」のコミュニケーション活動で自信を持って楽しみながら話したり聞いたりできるように、英語表現に慣れ親しむ活動を工夫し、活動の時間を十分に確保したい。また、アンケート項目③④の結果より、歌やチャンツで親しんだ英語特有の発音やリズムが、コミュニケーション活動ではいかされていない児童もいることが分かる。よって、児童がコミュニケーション活動を行うときにも英語特有の発音やリズムを意識できるように、英語に慣れ親しむ活動を工夫したい。

(3) 研究の視点

① コミュニケーションへの興味・関心を高める指導の工夫

- 毎時の始めに、単元のゴールとなるコミュニケーション活動のモデル動画を見せ、目的意識を持って毎時の学習に取り組めるようにする。
- 本単元では、Good communication の中の smile, eye contact, clear voice の 3 つの視点を意識できるように声かけをする。

② 英語を聞いたり話したりして慣れ親しむ活動の充実

- 食べ物の英語表現を導入する際は、日本語と英語の表現や発音の違いに気づかせる。
- 目的に応じた様々なチャンツを使って表現に慣れ親しませる。

③ 評価の工夫

- 英語の発音やリズム Good communication を意識しながら話している児童を積極的に評価する。
- ふり返しカードは、1 単位時間の指導のねらいに沿ったふり返りが書けるようにする。

3 単元の目標

- 料理の注文を積極的に聞いたり、伝えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 英語の音声的特徴に注意して料理の注文を聞いたり、伝えたりする。【聞くこと・話すこと】
- 日本語と英語の表現や音の違い、英語特有の音声的特徴に気づく。【言語や文化に関する気づき】

4 単元の計画

時	目標・活動	評価				
		コ	話聞	気	評価規準	評価方法
1	ゴールの活動を知る。 食べ物の英語表現を知り、日本語と英語の音の違い、音声的特徴に気づく。			○	食べ物の日本語と英語の表現や音の違い、音声的特徴に気づいている。	行動観察 ふり返りカード
2	デザートや飲み物の英語表現と注文を伝えるときの英語表現を知り、日本語と英語の音の違い、音声的特徴に気づく。			○	デザートや飲み物の日本語と英語の表現や音の違い、音声的特徴に気づいている。	行動観察 ふり返りカード
3 本	料理の注文を聞くときの英語表現を知り、注文を聞く。			○	料理の注文を聞くときの英語表現を知り注文を聞いている	行動観察 カード
4	英語の音声的特徴を意識して、料理の注文を聞いたり伝えたりする。			○	英語の音声的特徴を意識して、料理の注文を聞いたり伝えたりしている。	行動観察 ふり返りカード
5	嘉西キッチンを開いて、積極的に料理の注文を聞いたり、伝えたりする。	○			積極的に料理の注文を聞いたり、伝えたりしている。	行動観察 カード

5 本時の学習

(1) 本時の目標 料理の注文を聞くときの英語表現を知り、注文を聞く。

(2) 展開 (3 / 5)

過程	時間	学習活動	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	教師の指導と評価 ◇担任 ◆EC ●ALT	備考
課題をつかむ	5	1 Greeting あいさつをする。 2 Warm up 3 Today's goal めあてを確認する。	○ Hello, everyone. How are you? I'm fine. How are you? ○ Let's dessert and drink chant! ○ Today's goal is ~.	◇ gesture をつけて言っている児童を積極的にほめる。 ◆ ● ピクチャーカードを指差しながらチャンツをする。 ◇ モデル動画で、本時の学習への目的意識を高める。	ピクチャーカード 音源 動画 場面絵
		店員になってお客さんに料理の注文を聞こう！			
	15	4 モデルを見て、料理の注文の聞き方を知る。 What would you like? 5 Chant チャンツ① (表現を覚える) チャンツ② (音声的特徴を意識)	○ Look at the model. ○ どんな英語が聞こえましたか？ ・ “what” と “like”。 Let's restaurant chant! ○ リリー先生みたいに言うには、どのようにしたらいいでしょう？ ・ what と like が強い。	◆ ● モデルを見せる。 ◇ 会話内容やどんな英語が聞こえたかを確認する。 ◇ レストランなどで使う丁寧な表現であることを伝える。 ◆ ● would の発音を練習する。 ◇ アクセントを確認する。 ◆ ● モデルを見せて、アクセントを意識させる。	音源
しっかり考える	10	6 Game Stand up Game 	○ 自分の持っているカードを指されたら、立ち上がって注文しよう。 ・ What would you like? ・ Coffee, please!	◆ ● ゲームの進行をする。 ◇ ゲームの難易度を少しずつ上げながら、表現に慣れ親しませる。 ◇ 机間巡視を行い、表現の仕方が分からない児童に適宜アドバイスしたり、励ましたりする。	音源 カード
	8	7 Activity ロールプレイをする。 	○ 店員役とお客さん役になって、料理の注文を聞いたり伝えたりしよう。 “What would you like?” を使って料理の注文を聞いている。 【聞くこと・話すこと】	◇ ◆ ● 活動前にリハーサルタイムをとり自信を持たせる。 ● 机間巡視を行い、アドバイスしたり、励ましたりする。 ◇ ◆ 児童の活動を評価する。 英語の音声的特徴や Good communication に気をつけている児童を紹介し、コミュニケーションの質を高められるようにする。	メニュー表
まとめ	7	8 Today's review ふり返しシートに記入し、発表する。 9 Ending	○ 本時の学習をふり返しましょう。 ○ That's all for today. See you.	● 英語の音声的特徴や Good communication を意識して活動していた児童を紹介する。 ◇ 次時の活動への見通し。	ふり返しシート

